



# 平成30年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年1月10日

上場会社名 株式会社 エムビーエス  
 コード番号 1401 URL <http://www.homemakeup.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 貴士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 栗山 征樹

TEL 0836-54-1414

四半期報告書提出予定日 平成30年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年5月期第2四半期の業績(平成29年6月1日～平成29年11月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	1,398	15.6	167	21.8	189	13.0	129	16.0
29年5月期第2四半期	1,210	39.5	137	70.5	167	69.9	111	83.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	17.84	17.11
29年5月期第2四半期	15.38	15.31

当社は、平成29年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第2四半期	2,612	1,694	64.6	232.59
29年5月期	2,803	1,558	55.5	213.90

(参考)自己資本 30年5月期第2四半期 1,692百万円 29年5月期 1,556百万円

当社は、平成29年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年5月期	—	0.00	—	—	—
30年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年5月期の業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,880	8.2	252	0.9	318	8.1	217	4.7	29.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期2Q	7,275,000 株	29年5月期	7,275,000 株
② 期末自己株式数	30年5月期2Q	— 株	29年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期2Q	7,275,000 株	29年5月期2Q	7,275,000 株

当社は、平成29年4月1日付けで普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュフロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、米国の政権の政策動向や東アジア地域の情勢不安などによる世界経済の不確実性の影響もあり、不透明感を払拭できない状況となっております。

当社が属する建設業界におきましては、政府の公共投資並びに民間投資は堅調に推移しているものの、施工を行う技術者不足が解消されていないことに加え、資材価格や労務費といった建設コストの高騰が工事収益を圧迫するなど厳しい状況も続いております。

このような状況の中、当社は、新たに平成29年6月に浜松支店（静岡県）を設置するとともに、既存店におけるパートナー（工務店等）との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底、施工管理と品質・技術の向上に努めるとともに、人材採用及び育成にも積極的に取り組み、業容拡大や収益力の向上等も図って参りました。

これらにより第2四半期累計期間における売上高は、1,398,677千円（前年同期比15.6%増）、営業利益は、増収による売上総利益の増加に加えコスト圧縮効果もあり167,377千円（前年同期比21.8%増）となりました。また経常利益は、当社太陽光発電による売電収入22,656千円、外国社債に関する有価証券利息6,618千円のほか、減価償却費12,168千円、支払利息1,072千円の計上等により189,110千円（前年同期比13.0%増）、四半期純利益は、129,774千円（前年同期比16.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### (ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事等の増加により、売上高は1,234,402千円（前年同期比8.5%増）となり、セグメント利益は257,140千円（前年同期比22.2%増）となりました。

#### (建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事等が増加したため、売上高は162,764千円（前年同期比127.3%増）となり、セグメント利益は19,222千円（前年同期比227.3%増）となりました。

#### (その他)

F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の増加により、売上高は1,511千円（前年同期比28.1%増）となり、セグメント利益は441千円（前年同期比194.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ191,301千円減少し、2,612,190千円となりました。これは主に、現金及び預金178,188千円の減少、完成工事未収入金43,454千円の減少、売掛金44,989千円の増加等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ327,287千円減少し、917,674千円となりました。これは主に、支払手形133,713千円の減少、長期借入金44,136千円の減少、工事未払金31,351千円の減少、買掛金38,253千円の増加等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ135,986千円増加し、1,694,516千円となりました。これは主に、利益剰余金129,774千円の増加、その他有価証券評価差額金6,212千円の増加等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月12日に発表いたしました平成30年5月期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	871,759	693,571
受取手形	114,508	117,591
完成工事未収入金	339,889	296,434
売掛金	5,841	50,831
未成工事支出金	228,471	174,147
仕掛販売用不動産	6,464	6,464
原材料及び貯蔵品	10,474	16,096
その他	30,513	33,302
貸倒引当金	△7,387	△6,175
流動資産合計	1,600,537	1,382,264
固定資産		
有形固定資産		
土地	417,703	359,132
その他(純額)	318,034	252,286
有形固定資産合計	735,738	611,419
無形固定資産		
	2,712	15,740
投資その他の資産		
投資有価証券	300,443	309,382
その他	169,369	300,166
貸倒引当金	△5,309	△6,781
投資その他の資産合計	464,503	602,766
固定資産合計	1,202,954	1,229,925
資産合計	2,803,491	2,612,190
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	268,481	134,768
工事未払金	174,141	142,790
買掛金	43,639	81,893
1年内返済予定の長期借入金	88,272	88,272
未払法人税等	61,427	67,952
完成工事補償引当金	26,513	30,675
その他	281,597	115,910
流動負債合計	944,073	662,261
固定負債		
長期借入金	228,088	183,952
資産除去債務	6,336	6,613
その他	66,464	64,847
固定負債合計	300,888	255,412
負債合計	1,244,961	917,674

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,164	335,164
資本剰余金	343,931	343,931
利益剰余金	813,950	943,724
株主資本合計	1,493,046	1,622,820
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	63,083	69,295
評価・換算差額等合計	63,083	69,295
新株予約権	2,400	2,400
純資産合計	1,558,529	1,694,516
負債純資産合計	2,803,491	2,612,190

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,210,419	1,398,677
売上原価	819,893	935,339
売上総利益	390,525	463,337
販売費及び一般管理費	253,148	295,960
営業利益	137,377	167,377
営業外収益		
不動産賃貸収入	2,183	2,440
有価証券利息	5,928	6,618
売電収入	20,551	22,656
助成金収入	10,144	99
その他	8,422	6,962
営業外収益合計	47,231	38,776
営業外費用		
支払利息	1,272	1,072
売電費用	1,133	1,736
減価償却費	12,990	12,168
その他	1,855	2,067
営業外費用合計	17,251	17,044
経常利益	167,356	189,110
税引前四半期純利益	167,356	189,110
法人税、住民税及び事業税	56,902	61,858
法人税等調整額	△1,416	△2,522
法人税等合計	55,485	59,336
四半期純利益	111,870	129,774

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	167,356	189,110
減価償却費	18,711	18,137
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,413	260
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	3,242	4,161
受取利息及び受取配当金	△6,687	△7,231
支払利息	1,272	1,072
売上債権の増減額(△は増加)	△77,483	△4,618
たな卸資産の増減額(△は増加)	△76,576	48,703
仕入債務の増減額(△は減少)	46,639	△126,811
未成工事受入金の増減額(△は減少)	25,410	△137,098
その他	△24,979	△31,569
小計	78,319	△45,884
利息及び配当金の受取額	758	613
利息の支払額	△1,288	△1,083
法人税等の支払額	△46,140	△53,490
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,648	△99,845
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
保険積立金の解約による収入	2,340	-
保険積立金の積立による支出	△17,455	△20,134
有形固定資産の取得による支出	△18,072	△1,267
無形固定資産の取得による支出	△1,770	△13,385
貸付けによる支出	△15,000	△14,000
貸付金の回収による収入	19,170	15,727
敷金及び保証金の差入による支出	△1,069	△570
その他	-	△231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,856	△33,860
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△44,136	△44,136
リース債務の返済による支出	△1,519	△1,545
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45,655	△45,681
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,649	1,199
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△47,512	△178,188
現金及び現金同等物の期首残高	584,089	871,759
現金及び現金同等物の四半期末残高	536,577	693,571

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,137,641	71,597	1,209,239	1,180	1,210,419
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,137,641	71,597	1,209,239	1,180	1,210,419
セグメント利益	210,374	5,873	216,247	150	216,398

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	216,247
「その他」の区分の利益	150
全社費用(注)	△79,020
四半期損益計算書の営業利益	137,377

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期累計期間(自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,234,402	162,764	1,397,166	1,511	1,398,677
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,234,402	162,764	1,397,166	1,511	1,398,677
セグメント利益	257,140	19,222	276,362	441	276,804

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	276,362
「その他」の区分の利益	441
全社費用(注)	△109,426
四半期損益計算書の営業利益	167,377

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。